THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF
OSAKA NAKANOSHIMA
Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES（2021-2022）
国際会長主題：“Y's Men with the World”「世界とともにワイズメン」
アジア会長主題：“Make a difference beyond the 100th”「100 年を超えて変革しよう」
西日本区理事主題：“Challenges for the future”　「未来への挑戦」
中西部部長主題：”Love your neighbor as yourself!”「隣人愛を実践しよう！」
クラブ会長主題：「ずっと一緒に！・・・新しい仲間を見つけつつ」

Monthly Bulletin
第 302 号
2022 年 2 月

聖書のことば

わたしは、強く雄々しくあれと命じたではないか。うろたえてはならない。 おののいてはならない。あなたがどこに行ってもあなたの神、主は共にいる。
（ヨシュア記１章９節）
選者　武井　和子

３月例会プログラム

日時：2022 年 ３月 ５日（土）15：00～17：00
場所：大阪 YMCA 土佐堀会館 及び Zoom

司会　吉岡 香代子

1. 開会点鐘　保田　圭子会長
2. ワイズソング：奏楽のみ
3. 聖句朗読　武井　和子
4. ゲスト、ビジター紹介　保田　圭子会長
5. 連絡・報告・ニュース
6. 卓話 *「必要に沿えるように」*
   小森　仁美　さん
7. お誕生祝い
8. ニコニコ献金　ドライバー
9. YMCA の歌
10. 閉会点鐘　保田　圭子会長

例会当番（C）　　受付当番（B）

２　月　統　計

第１例会出席者数		例会出席率		B　F　統　計			
メンバー	８名	出席者	８名	日本	230ｇ	累計	1503 ｇ
ビジター	名	メイキャップ	４名	外国	12ｇ	累計	90 ｇ
ゲスト	名	合　計	12 名	現金	円	累計	円
コメット	１名	在籍者	14 名	提供者：	杉浦　藤好　保田		
合　計	９名	出席率	85.7 ％				

２月例会報告

楽しみました！
「京都トゥービーさんとの DBC 例会」

保田　圭子

コロナの第６波とか蔓延防止措置延長とかまだまだ収まらない状況下であったが、合同例会は行われることになった。私自身は目下体調も良くワクチン３回目も済ませたので、行ってみよう、というわけで２月 23 日（水・祝）、なかのしまメンバー９名と共に京都駅集合。（今井・國友・杉浦・武井和子・美帆・藤井・藤好・吉田・保田）

会場である京漬物・西利本店に向かった。 お漬物の並んだ店を通り抜け、二階に上がるとパンや、スイーツが置かれたコーナーがあり、その奥の机付きの椅子が並んだ部屋に案内された。 私は、「会長さんはここ」と一番前の椅子に座って、前面の窓越しの景色にびっくり！ 道を隔てて真ん前に西本願寺の伽藍。瓦屋根がずらりと連なっていたのだった。「うわ！京都!!」・・・・。

すぐに「京漬物・西利の新たな挑戦」と題して平井誠一社長のお話が始まった。お漬物はキライではないけれど毎日食べるほどでもなかった私、平井社長のお話を伺ううちに「あー、お漬物食べたい、帰りに買っていこう」と思い始めていた。お話がお上手なのかな？ いくつかの質問にも納得のいく

答えをしていただき、お昼休みになった。

お弁当を受け取ってそれぞれ思い思いのところでいただく。ご飯の上にすぐきや柴漬がのって真ん中に西京漬けの切身魚（銀タラかな？）錦糸玉子が少し。見た目はシンプルだけどこれがとても美味しい。スイーツもどうぞ、ということでゆっくりいただいていると「午後の部はじまりまーす」と、なった。

午後は「食と健康講座」。製造部長、研究所長と言われたが同じ平井さんという苗字。息子さん？親戚？お漬物は発酵食品、乳酸菌、ラブレ乳酸菌、食物繊維などの入った健康食品というお話を伺った後ぬか漬け、ぬか床の作り方、そして発酵熟成させてそのまま使える西利のぬか床を使ってのぬか漬けの作り方まで教わり、このぬか床を一人ずつにお土産としていただいた。

短い交流タイムの後宮田会長の閉会あいさつで合同例会は閉じられた。ピンクシャツ day ということでなかのしまメンバーはピンクのセーターなどで参加し（トゥビーさんもピンクの何かを付けてワイズらしく。）トゥビーさんはメンバーの入れ替わりもあったようだが、新しい、初めてお会いする方もフレンドリーに接してくださり、「楽しいこと大好き」な方ばかり。DBC 例会はいつもほっこり楽しい気分で帰れる。

蛇足。下のお店で千枚漬けやあっさり漬けなど、お漬物に賞味期限はねー、ということを聞いて一人なのにたくさん買い込み、ぬか床と合わせてずっしり重い荷物を持って頭の中まで西利つけになって帰途についた。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

東京たんぽぽさんと「お試し交流会」をしました！

藤好　基子

２月８日（火）に、それぞれの場所から Zoom に入り、東京たんぽぽサービスクラブさんとの「お試し交流会」が開催されました。「お試し」とは何ぞや？と思う方もいらっしゃるでしょうが、２クラブにとっては待望の DBC 交流会をやりたいと数年前から思っていたことが実現しました。当日は画像は見られるが、音声が聞こえないとかパソコン（ネット環境）の準備に四苦八苦しながら実現いたしました。

テーマは『コロナ禍でみつけた！楽しいこと、辛かったこと』を何でも３分スピーチです。久しぶりに画面を通してですが、お顔を見ての例会にメンバーも少し興奮してスピーチを交互にいたしました。

・自分を大切に健康に過ごす。　・自粛生活の時間を大切にし、英国やフランスのミステリーにはまった。　・アルバムの整理をしながら、思い出も Y‘s や YMCA の方々との交わりが財産となっているのを実感。　・一人の生活だが、十分注意しながら前向きに生きる。　・新しい仕事に出会い、目標が出来た。　・主婦生活を忙しく楽しんでいる。　・一日一回は近所のスーパーでも歩いて外へ出る。　・独居老人生活を楽しんでいる等々。

その中でもご家族や本人がコロナに感染し自宅療養している方が２人いました。「あっという間に感染するので皆さま気を付けて」と。オミクロン株の感染力の強さにビックリいたしました。そして何人ものメンバーが Zoom があって、遠くの方と話したり会議に出席できることが良かったとおっしゃいました。

私もパソコンを買い替えて Zoom にチャレンジした時のことを思い出しながら孫娘の誕生をスピーチしました。辛いことも、嫌なことも多いこの状況の中ですが、全員が Zoom での「お試し交流会」を楽しむことが出来ました。

懐かしい元メンバーの方からのお便り

生雲　文枝　さんより

奥田時夫さんを偲んで

昨年 10 月、奥田さん宅に弔問に伺いました。遠藤期の役員、正野さん、人見さん、伊藤さんの合計４名です。奥様が出迎えて下さって、仏間に通されました。仏壇にはお酒の瓶を手にして嬉しそうに笑っている奥田時夫さんの写真が飾ってありました。「病状を聞いた時、主人は流石に寂しそうな顔をしていましたよ。でも思ったより、長く生きられたんですから」と、奥様が話してくださいました。

それから弔問に訪れた４名がそれぞれ奥田さんの思い出を語りました。私は時々、土佐堀川沿いを散歩するのですが、散歩の途中、フェスティバルタワーにかかった辺りで当時、住友病院に入院されていた奥田さんから電話があり、預かっている西日本区会計の預金通帳を渡したいとのこと、中間決算が迫っており、そのことを気にしていらっしゃるのだと思いました。結局、通帳は奥様が西日本区事務所に持ってきて下さったのですが、その時、私はわざわざ持参いただいたのがうれしかったのと突然の奥田さんの病にショックを受けていたのとで泣きそうになってしまいました。

奥田さんは遠藤期の西日本区大会の役員引継ぎ式にも、病をおして出席くださいました。今思うとどんなに体がきつかったことでしょう。いつも明るい笑顔でカメラを抱え、お茶目な面を見せていた奥田さん、でも私は責任感が強く、几帳面でそれを決して表に出さない人であったことを知っています。

70 歳になった時に「これ、もらったんや」と嬉しそうに大阪市の敬老優待乗車証を見せてくれましたね、奥田さーん、見てください、ついに私も優待パスをもらいましたよ。

ミャンマーに思いを寄せて【9】

杉浦 眞喜子

前号に書いたように、なかのしまは、チャーターと同時に、山地さんのミャンマー縫製指導に関わる２つのことをお手伝いすることになりました。その１つ、山地さんの縫製指導に同行するアシスタントとしては、一番最初に羽馬和代さんが、その後吉岡さん、その翌年江見さん、戸田亜理子さんなどが行かれたように覚えています。年に２回、10 日間ぐらいのプログラムだったようですが、山地さんはそのプログラム前後もマンダレーの HITO センターでのお働きを続けていらして、アシスタントの方は往き帰りはお１人で行かれ、現地で山地さんと合流することも多かったようです。郵政省ボランティア貯金による大阪 YMCA のこのプロジェクトは、2000 年ごろまで続いたように思います。

一方後方支援としての「針っ子クラブ」は、前号にも書きましたように、十三近くのお宅を使わせて頂き、毎週土曜日に集まれる者がお弁当持ちで集まり、反物の布を決まった長さに切り揃えたりなど、色々な作業をしました。おしゃべりをしながらの気の置けない仲間との作業は、楽しいものでしたし、例会だけではなかなか親しくなれないメンバー間の交流を密にもしました。

切り揃えた布地や縫製に使う道具などをミャンマーに運ぶのも結構大変でした。私も一度だけ経験しましたが、ミャンマーへ行く人は、自分の荷物は極力少なくして、布地その他の縫製に必要な物を許容量いっぱいまで手荷物として持って行きました。スーツケースに詰めるだけ詰め込んで、これは私たちだけでなく、HITO センターグループのボランティアの方々などにもお願いしていました。

そんな中、1999 年 HITO センターグループの活動が認められ、在ミャンマー日本大使館から ODA で支援物資輸送費助成金が貰えることとなり、私たちもこれに便乗させて頂き、「針っ子クラブ」でそれまでに整理してきた布地なども大量に現地に送ることが出来ました。この頃（1999 年暮）で「針っ子クラブ」の活動は終わりとなり、未だ少し残った布地については、数年後にミャンマーに運ぶことになります。

「私と『山ガールの思い出』」

吉田　由美

今で言う山ガール。50 年前私は大学のワンダーフォーゲル部に所属し、20kg の荷物を背負い、近畿の山で錬成合宿を行い、信州の山々に足を延ばし、年間 50 日以上山での生活を過ごしていました。セピア色になった写真と共に、戻ってくることの無い私の青春の思い出です。

３回生の夏合宿の場に大雪山を選び、５人の女子パーティーのリーダーとして、旭岳から忠別岳、トムラウシ山を走破するコースの計画を立てました。お金が無かった私たちは、急行北国の自由席で青森まで行き、青函連絡船に乗り、函館から旭川までも特急に乗ることなく、旭岳ロープウェイ乗り場に着いた時には、大阪を出発してから 40 時間が経過していました。その夜は公園の中にテントを張り、翌日勿論ロープウェイにも乗らず姿見の駅まで歩きましたが、ニッコウキスゲの群生やチングルマの絨毯など自分の足で歩いた所の映像は目の奥に残っています。石室で一泊した後トムラウシ山に向かって南下を開始しましたが、脅されていた熊との遭遇もなく、一歩一歩進む登山道の石の間からひょっこり顔を出したエゾイタチに驚きながらもトムラウシ山に到着し、十勝岳から北上してきた男子パーティーと出会うことができました。

トムラウシ山はアイヌ語で「花の山」という意味に違わず一面の花畑です。持参した図鑑を広げることもなく、何時間もただ眺めていました。トムラウシ山から下山して私たちの夏合宿は終わりましたが、帰阪するにも 40 時間もかかる事を思い、このまま帰ることが勿体なく、数人の有志でトムラウシ山の源流クワンナイ川の渡渉（沢登り）に挑みました。登山靴を脱ぎ、山靴下に滑らないように草鞋を付け、雪渓から流れ落ちる冷たい川の中を進む山行の想い出は、私の宝物となっています。

あれから 50 年が経ち、苦しかった経験は忘れ、楽しい美しい思い出だけが記憶に残っています。

なかのしまクラブのピンクシャツデー

なかのしまクラブは，２月 23 日のピンクシャツデーに先立って、もう１日第２例会の 16 日にも私たちのピンクシャツデーを持ちました。みんなピンクで Zoom 参加しました。

２月第２例会報告抄

日時：2022 年２月 16 日（水）19 時～
場所：Zoom にて
出席者：12 名

1. ３月第１例会開催日を５日に変更。（西日本区役員研修会と重なるため。）
2. Ｙサ、CS 関係、BF などの各種献金額の集計結果が示され、会費に含まれている額と併せ、296,202 円を西日本区へ納めることが確認された。
3. 次期クラブ事業委員について話し合い、各事業委員長及び委員を決定した。

ニコニコ献金 ２月　7,015 円

〈ニコニコメッセージ〉　― ２ 月 ―

2月は京都トゥービークラブさんとの合同例会でしたので、トゥービーの方々からもメッセージを頂いていますが、誌面の都合上、それらは次号に掲載させて頂きます。

☆ 昨年は古田理事にも会えず、今日は久し振りに京都でお会いでき、みんなにも会えました。私も日本人、食後のおつけもの大好きの一人です。いいプログラムありがとうございました。（今井）

☆ まだ先ですがもうニコニコしています。東京の息子たちが家を買いましたのでお祝いに出かけます。3月 19 日から 21 日まで。子供たちに会えるのを楽しみにしています。（江見）

☆ 西本願寺のいらかの波が陽に白く輝いていた。瓦屋根とは何と美しいのだろう。漬け物大好きな私、塩分と悩ましい関係・・・。（國友）

☆ 久しぶりの DBC 例会、西本願寺を正面に見るお部屋で興味深いお話を聞かせて頂き、美味しいお弁当（西京焼きとお漬け物！）とデザートを頂き、大満足の例会でした。トゥービーさんの細やかなご準備感謝です。（杉浦）

☆ 京都に久しぶりに訪問できて嬉しいです。お漬物の西利でたくさん買い物しましょう。（武井）

☆ 京都に来れて嬉しいです。（武井美帆）

☆ 久しぶりの京都トゥービークラブの合同例会、楽しく参加できました。ありがとうございます。（藤井）

☆ 生まれて初めて『お雛様』を購入しました。私は息子が二人で買うことはないと思っていましたが、孫娘のために購入の機会が訪れてワクワクしながら夫と奈良の一刀彫の小さな立雛を選びました。幸せです。（藤好）

☆ 今、日本へ入国出来ず海外に待機している留学生は世界で約 14 万人いるとされています。3月から日本への入国規制が緩和されるということですが、さて、具体的にどのような流れで進んでいくか？？ 本校の学生もさることながら、日本留学を待ちわびている留学生がスムーズに入国出来ることを願っています。（古谷）

☆ この２年間ずっと、どこにいてもコロナの話ばかり。でも今ほど身近に大きな影響が出ているのは初めてです。オリンピックでの羽生くんの「春よ来い」の演技が心に染みました。（山佐）

☆ 名古屋の孫娘が、こちらの大学に来ることになりました。私のうちから通うことになりました。のんびり、ぐーたら一人暮らしをしていたので、大変かな？でも、ちょっと嬉しいです。（保田）

☆ 街中での感染がコロナ菌から２月になってオミクロン菌となり、次はまだ少ないが BA2 菌の感染が増すのではないでしょうか。何時になったらマスク無しで歩けるのでしょうか。（吉岡）

☆ ２月 22 日は、ニャンニャンで猫の日、ニンニンで忍者の日、２が３つ並ぶ温泉の日♨、また今年は 2022 年で、２が６つ並ぶスーパー猫の日で、猫好きには特別の日です。我が家の猫は６年前に天国に行きましたが、猫好きは変わっていません。（吉田）

☆ 来年度の合同例会デビューを楽しみにしています。（和田）

YMCAニュース

★第 335 回早天祈祷会

日時：2022 年３月 18 日（金）７：30～８：15
※朝食会はございません。

証し：小寺　隆志さん
（体育・ユーススポーツ事業　事業長）

場所：大阪 YMCA 会館　10 階　チャペル

※新型コロナウイルスの感染状況により、中止の可能性があります。

BF 切手について

1 年間集められていた使用済み切手の最終整理をしました。約 1,500g ほどありましたが、中には台紙の周囲が狭かったり（規定では 3～5mm）、台紙のないものなどかなりあり、最終的には、日本切手 1,230g、外国切手 90g でした。

今年は、中西部でまとめることがなかったので、クラブ独自で 1Kg を「フクオ Y'S 係」へ送りました。

今後切手整理する時は、「台紙の周囲 5mm」を覚えてお願いします！

編　集　後　記

前号で「お手紙」を載せさせて頂いた元なかのしまのメンバー、オードリ・ギルグさんには、紙媒体で毎月ブリテンをお送りしていますが、早速お便りメールを頂きました。

まずご自分の文章がブリテンに掲載されたことを、とっても喜んでいらっしゃいました。そしてお元気にしていらっしゃること、３回目のワクチンも打たれて万全を期していらっしゃるけど、施設ではコロナに罹られた方もいらっしゃること、それより大変だったのはノロウイルスの蔓延とか。お食事も食堂で食べないで、各自自分のお部屋で食べたとか・・。もう収まったようですが、とにかく２年前のコロナが始まった時と同じようだったとか。　最後はいつもなかのしまの Lady たちによろしく、なかのしまのこと祈っています、で締め括られています。

みなさんもギルグさんにメールしてみてください。日本語のメールで大丈夫です。但しギルグさんからは日本語ではきません。でもギルグさんの英語はわかりやすいですよ！　なかのしまメンバーには後でギルグさんのメールアドレスお知らせします。

と長い「編集後記」になってしまいましたが、紅梅が咲いています。春はもうそこですね！